

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平塚文化芸術ホール	階数	地上4F
建設地	平塚市見附町16-2、16-3	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,500 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2019年9月20日
敷地面積	8,583 m ²	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	5,106 m ²	確認日	2019年9月20日
延床面積	8,340 m ²	確認者	清水建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.4 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 71%

③上記+②以外の: 70%

④上記+: 70%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
隣接する公園との一体的な計画とし、来訪者が気軽に立ち寄り、居場所をみつけられるような計画としている。また建物周囲に大庇・軒下空間を設け、落ち着いた色調とすることで、周辺環境との調和を図っている。		
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能 災害時における建物の機能上重要な機器のバックアップ電源、運用計画を行うことで建物の信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺地域への圧迫感を軽減し、景観に配慮したボリューム・色彩計画とすることでまちなみや景観に配慮している。
LR1 エネルギー 使用時間の長い共用部に自然採光を積極的に活用することで省エネ化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや自動水栓、省水型機器を採用、雨水を再利用するなど水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインを活用、対策を行うことで周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される